

函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会

第6回会議 会議録（要旨）

1 日 時

平成29年10月20日（金）19：00～19：40

2 場 所

函館市医師会病院5階講堂

3 出欠状況

メンバー：岩井メンバー欠席，水越メンバー欠席，中村(看護協会)メンバー欠席，京谷メンバー欠席

部会運営担当：函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，長谷川，川村，柳谷

事務局：市介護保険課）小棚木課長

4 議 事

○報告事項

- (1) 中小規模研修会(介護関係者向け，医療関係者向け)概要について
- (2) 第3回函館市医療・介護連携多職種研修会概要について
- (3) 研修情報の一元化と提供について

○協議事項

- (1) 第3回函館市医療・介護連携多職種研修会当日役割分担について

5 会議の内容

小棚木医療・介護連携担当課長

事務局をしております函館市保健福祉部の医療介護連携担当課長の小棚木と申します。本日は宜しくお願ひいたします。7時を回りまして定刻過ぎております。船山さんが、今日こられる予定という風に伺っておりますが、ちょっとまだ見えていないところではあります。皆さんお揃いなので先ほど部会長に確認いたしまして、進めていこうということで考えておりますが皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。はい。それではただ今から、函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の第6回会議を開催させていただきます。前回の会議でも確認いたしておりますが、この会議は原則公開により行いますので、ご了承願ひます。次に、第5回の会議録についてでございますが、事前に各メンバーの皆様にご確認をさせていただきました。事務局の方には、特に修正のご意見がございませんでしたので、原案どおりで第5回会議録を確定させていただき、市のホームページ上で公開させていただきます。本日は、岩井メンバー、水越メンバー、看護協会の中村メンバー、京谷メンバーが所用により欠席となっております。本日の資料を次に確認させていただきます。

す。事前に会議次第を1枚、資料1から14まで全部で合計17枚を送付させていただいております。本日お持ちでいらっしゃらない方はいらっしゃいますでしょうか。大丈夫でしょうか。また、あらかじめ、本日机上にですね座席表と出席者名簿、及び当日資料として『はこだて入退院支援連携ガイド』の21ページになります関係職種の紹介を机上に配布させていただいております。続きましてこちらの部会の幹事で、メンバーに9月1日付で人事異動がありましたのでご紹介をさせていただきたいと思っております。新しくセンターの医療ソーシャルワーカーになられました柳谷様でございます。

柳谷幹事

医療ソーシャルワーカーの柳谷と申します。非力ではございますが、皆様のお力をお借りしながら業務を遂行して行きたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

小棚木医療・介護連携担当課長

はい、ありがとうございます。また、以前幹事として高柳係長さんがいらっしゃいましたけれども医師会病院の人事異動で、このたび、センターの隣の地域連携室のクローバーの方に異動されております。すぐ隣にいらっしゃるということで、色々センターの仕事を見守っていただきながら引き続きご協力いただけるという体制になっております。センターのリーダーとして、高柳係長に変わりました9月1日からリーダーとして統括していただいているのが、佐藤静様でございます。

佐藤幹事

はい、改めまして宜しくお願いします。

小棚木医療・介護連携担当課長

はい、佐藤リーダーありがとうございます。それでは議事の方に入らせていただきたいと思っております。本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願いいたします。酒本部会長、お願いいたします。

酒本部会長

はい、部会長の酒本でございます。宜しくお願いいたします。それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。まず報告事項(1)「中小規模研修会(介護関係者向け、医療関係者向け)概要について」に関して、佐藤幹事から説明願います。

佐藤幹事

はい、私の方からご報告させていただきます。次第の2報告事項の(1)「中小規模研修会(介護関係者向け、医療関係者向け)概要について」につきまして、ご報告いたします。すでにメンバーの皆様にはメールにて発信させていただいているものでございますが、改めてご説明させていただきます。報告事項のアでございますが、介護関係者向け研修会についてです。資料3をご覧ください。テーマを「医療機関の病床機能の理解、この先の医療政策の展開について」としまして、国立病院の医療ソーシャルワーカー廣瀬量平様に講師をお願い

いしております。会場は医師会病院5階講堂としまして、今年度は同テーマ、同講師にて2回の研修会を予定しております、昨日1回目の研修会が終了いたしました。2回目は来年2月26日に実施予定です。参加対象につきましては、会場の都合もあり今年度は居宅・包括・訪問看護の事業所の職員に限らせていただきましたが、来年度は数回に分けて訪問系・通所系・入所系の介護関係者に向けて案内する予定であります。講師に関しましても、継続して国立病院の廣瀬様に依頼する予定であります。研修会終了後のアンケートは、資料4の内容で実施しております。前後しましたが、昨日は72名の参加者をケアマネジャーさん、訪看さん、包括支援センターの皆様にお集まりいただきまして、盛況のうちに終了しております。続きまして、イの医療関係者向け研修会についてです。資料5をご覧ください。テーマは「介護保険の概要～退院を見据えた展開」といたしまして、講師は地域包括支援センターゆのかわ、保健係長の京谷佳子様をお願いしております。こちらも同様に今年度は、同テーマ、同講師にて2回の研修会を予定しております、1回目を今月30日に五稜郭病院にて、2回目は来年2月13日に国立病院にて予定しております。参加対象は、会場となる病院の職員さんが中心となりますが、今年度は、協議会に参加しておられる医療系の団体様宛にも参加案内を出しております。こちらも、今後、会場となる病院さんのご都合に合わせてながら、団体に所属していない医療機関等にもご案内していく予定であります。来年度の予定としては、二次輪番病院を順番に会場としてお借りして今年度と同じような形で進めて参りたいと考えております。

研修会終了後のアンケートは資料6の内容となっております。報告は以上でございます。

酒本部会長

ありがとうございます。それでは、報告事項(1)ア・イに関して、皆様からご発言をいただきたいと思っております。ご質問、ご意見等はございませんか。

はい、川口先生お願いいたします。

川口：在宅ケア研究会

話している内容は、我々が知ることはできるのでしょうか。どういう内容で講師が講義をしているとか。

佐藤幹事

はい、そうですね。資料の方は廣瀬さんの方で作成していただいたものがセンターの手元にありますので、もしご希望であればそちらの資料をお渡しすることは可能です。今年度は、医師会員の先生方へはご案内はできていないんですが、また次年度は医師会員の先生方にもご案内はしていきたいと思っております。

酒本部会長

ほか、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では「報告事項(1)」に関しては以上にて終了して、次の議事に進めてよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、報告事項(2)「第3回函館市医療・介護連携多職種研修会概要について」に関して、幹事から説明願います。

佐藤幹事

報告事項の(2)「第3回函館市医療・介護連携多職種研修会概要について」につきまして、資料7をご覧ください。研修会の素案でございます。こちらをもとに資料8の概要書を作成しております。今年度は11月25日土曜日の14:00から15:00花びしホテルで実施となります。昨年同様、対象者は医療・介護関係者240名を定員として、資料9の昨年度の各団体ごとの出席実数をもとに、今年度の依頼人数といたしました。なお、グループワークの際の1テーブル8人掛けとなっておりますので、8の倍数になるよう考慮した人数配分となっております。資料10はすでに各団体の会長様宛にお出ししております参加者推薦依頼文書となります。資料8の概要書に戻りますが、テーマを「相互理解～自職種を省みる・他職種を理解する～」としセンターの実績報告の他、15職種による職種紹介、事例をもとにしたグループワークを予定しております。タイムテーブルは資料11の通りとなります。

資料7の素案に戻りますが、1ページ目に記載されております構成ですが、総合司会は酒本部会長にお願いいたします。まず、センターの実績報告を10分程度行います。その後、座長をお願いいたしました川口先生にお任せいたしまして進行していただく予定となります。はじめに15職のシンポジストによる職種紹介となります。各職種3分間の持ち時間で、本日の配布資料とさせていただいておりますが、「はこだて入退院支援連携ガイド」の職種紹介に沿って説明していただきます。その後、資料12の事例を、提供していただきました中村副部長から事例を紹介していただきます。その後、グループワークに入っていただきますが、今年度は同職種で構成したグループ分けをして、2つのテーマで話し合ってもらいます。1つ目は、「事例を通じて自職種として果たすべき役割」として、自分の職種がどの場面でどういった関わりをするのかを話し合ってもらいます。このとき、なるべく基本、根幹となる自職種の役割を出していただきますが、プラスアルファ、他職種に理解してもらいたいことも話し合ってください、改めて自職種を省みる機会としていただきたいと思います。2つ目のテーマですが、「他職種へ聞いてみたいこと」として、事例の中でも、事例から離れてでも、確認したいこと、聞いてみたいことを職種ごとに整理して出してもらいます。いずれも、今回は模造紙を使用せずにA4の用紙に各テーブルの書記に記載していただきます。グループワークの際、シンポジストはファシリテーターとなっていただき、1つ目のテーマの時は自職種のテーブルを回り、各テーブルのフォローをしていただきます。2つ目のテーマの時は他職種のテーブルを回り、その後の意見交換の時に自分が回答する質問を選定していただきます。選定した質問はグループワーク終了前に事務局へ報告していただき、事務局でPCに入力し、意見交換時にスクリーンに投影できるように準備します。グループワークの発表ですが、まず1つ目の課題に関してはあらかじめ発表グループを決めさせていただきたいと考えております。発表していただくのはケアマネジャー、看護師、リハ職の3グループにお願いする予定でおります。発表の際には、自分のグループのA4の紙を見て発表していただきますが、用紙の内容は会場全体へは共有せずに口頭での発表をしていただきます。後日、センターのHP上で全グループの内容を公表して閲覧できるように考えております。2つ目の発表については、それぞれのシンポジスト自身が回答しやすい質問を事前に選定していただいて、スクリーンに投影しながら座長の仕切りのもと、15職のシンポジスト、またはそれぞれのグループからの意見交換を想定しております。この場面で、自

職種を省みる機会と他職種を理解できる場にできればと考えております。発表時間は1, 2を合わせて37分程度を予定しており、その後当日ご参加いただいている、どなたか医師の方に総評していただく予定で考えております。以上が大まかな研修会の流れとなります。なお、研修会終了後のアンケートは資料13のとおりとなります。今年度も、研修会終了後に懇親会を予定しておりますので、皆さまもご参加いただければと思います。なお、当日、会場となります花びしホテルですが、他のイベントと重なっていることもあり、当研修会用の駐車スペースがございません。資料10の参加者推薦依頼の文面にも記載しておりますが、公共の交通機関等をご利用していただきますよう改めてお願い申し上げます。以上でございます。

酒本部長

ありがとうございます。それでは、報告事項(2)に関して、皆様からご発言をいただきたいと思っております。ご質問、ご意見等はございますでしょうか。

益井：鍼灸マッサージ連携会

ぼけっと聞いていたわけではないんですけど、もう一つこうイメージがわからない。もう一度シンポジストと部会メンバーのファシリテーターの部分の介入の仕方というか、そこをもう一度お聞きしたんですが。シンポジストというのは各15団体の中から、1名ずつ出すんですよね。このシンポジストはどこに入るんですか。その8名ずつのテーブルがあるじゃないですか。で、シンポジストはどこに。

佐藤幹事

シンポジストの皆さんは、各テーブルに入っていたかずに、シンポジストとして発表していただいた後、会場内がグループワークに入っている間は、ファシリテーターとして、各テーブルを回っていただくこととなります。テーマ1の時は自職種のテーブルを回っていただきます。ですので益井先生であれば鍼灸マッサージ師の皆さんのテーブルを回っていただく。テーマ2の時には、また鍼灸マッサージ師の方々ではないテーブルの皆さんのテーブルを回っていただきまして、ご自身が受ける質問を選んでいただきたいと思っております。

益井：鍼灸マッサージ連携会

なるほど、シンポジストと部会メンバーというのはイコール。

佐藤幹事

そうなんです。あの、できましたら今回のシンポジストは、部会メンバーの皆さんを中心にお願いしたいと思っておりました。

益井：鍼灸マッサージ連携会

わかりました。

佐藤幹事

はい、部会メンバーとしてのお手伝いも入る方もいらっしゃるし、シンポジストをしていただいたり、ファシリテーターをしていただいたり、本当に皆さんにはお忙しい思いをさせてしまうんですが、ご協力いただければと思っております。

益井：鍼灸マッサージ連携会

はい、ありがとうございます。

酒本部長

はい、ありがとうございます。あの当日の役割分担等については、この後またちょっとふれさせていただこうと思います。その時にまた皆さんと協議できればという風に考えております。その他、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。はい高畑さんお願いいたします。

高畑：訪看連協

これ一通り見させてもらって、みんなの意見を、すごく吸いあげてくれて、すごく大変だったと思います。お疲れ様です。すごくしっくりきました。流れが分かりやすく良かったと思います。これあのみんなの手元にはどういう資料が配布されますか。この連携支援ガイドとか行くんですか。

佐藤幹事

連携支援ガイドは配布資料として参加者の皆さんにお配りする予定でおります。この他、事例であったりとかアンケート、研修概要書の予定であります。

高畑：訪看連協

分かりました。すごく事例もシンプルで良いなと考えやすいなと思いましたが。良かったと思います。

佐藤幹事

ありがとうございます。

酒本部長

はい、他ご意見、ご質問等ございますか。はい、川口先生お願いいたします。

川口：在宅ケア研究会

あの、職種紹介で、この仕事内容、役割が一応ここに載っているんですが、あの、これを例えば読むとすぐ1分くらいで終わっちゃうんですけども、その辺、これを発表するのは部会の方ですね。

佐藤幹事

だいたい部会の方ですね。

川口：在宅ケア研究会

なので、その内容を3分位で事前に考えてきてもらう感じになりますよね。あともう一つ、例えば医者役割とかがあって、いっぱい喋ろうと思えば喋れるんですけど。今回は訪問診療とかに特化してって意味なんですかね。それとも看護師も訪問と病棟とかの役割って違うんですけども、今回はここで喋る内容ってというのは、どこに絞ったらいんだろうってというのはありますね。

佐藤幹事

まずですね、シンポジスト会議に関しましては、11月に入ってから皆様にお集まりいただいて、また改めてイメージをお伝えできればと考えております。ですが、川口先生からご指摘がありましたように、今回、医師には訪問診療している医師にお願いしたいという形で考えておりますので、もし訪問診療に特化した形でお話しいただけるのであれば、そちらのなんていうんでしょう、まずは、基本となる所をお話ししていただいた後の残った時間の方ですね訪問診療に係るお話をしていただけるとありがたいと思っております。よろしいでしょうか。

酒本部長

他、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。はい、寺田さんお願いします。

寺田：訪リハ

グループワークの2番の他職種に質問って、聞きたいことでは、自分の所以外の職種、14の職種に対して必ず一つは何か書いて下さいっていう、なんかどこかに集中してどこかがないっていうことがなきゃいいなっていうように思いました。

佐藤幹事

そうですね。あのイメージの中では、ご自由に話してもらおうとは思ってたんです。その中で、もし質問が出ない職種がありましたら、事前にセンターの方でと言いますか幹事の方でも質問を用意しておいて、そちらを提示しようかなと考えていたんですね。ただ、もしそうですね15職種に対して、それぞれに質問を考えてくださいねというやりかたも一つかもしれないですね。検討してみたいと思います。

酒本部長

はい、他よろしいですか。はい齋藤さんお願いします。

齋藤：老施協

前回、第2回の時の大規模研修の時って、あの例えばうちの老施協で何人かお手伝いって出したんですけど、今回、人数どの位ですか。

佐藤幹事

後ほどですね、役割分担に関しては、ご説明したいとは思いますが、はい今の所はですね、あの昨年ほど、お手伝いはらない状況で考えておりました。

齋藤：老施協

締切自体10月末ですもんね。はい、ありがとうございます。

酒本部長

他ご意見ご質問等よろしいでしょうか。よろしいでしょうか。では「報告事項（2）」に関しては以上で終了しまして、次の議事に進めてよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、報告事項（3）「研修情報の一元化と提供について」に関して、幹事から説明願います。

佐藤幹事

報告事項の（3）「研修情報の一元化と提供」につきまして、ご報告いたします。本年、4月より函館市医療・介護連携支援センターのホームページ上で、研修開催情報を公開しております。毎月20日前後にセンターより、各団体のご担当者さまにメールにて研修情報の提供依頼をさせていただいております。前回6月の部会の際には4月から6月までで、3件の研修情報掲載のご報告をさせていただきました。6月から10月までの状況ですが、道南在宅ケア研究会様、北海道柔道整復師会函館ブロック様、などなどですね。研修会の掲載依頼があり合計11件の研修情報の公開がありました。

研修情報の公開は、参加者を募る目的と研修日程が重複しない為の情報提供がありますが、現在のところは半々ぐらいかと思っております。また、まだまだ一元化というには情報が少ないと感じておりますので、各団体様への提供依頼は、当初、半年を予定しておりましたが、今年度はこのまま毎月継続していくことといたしました。以上でございます。

酒本部長

ありがとうございます。それでは、報告事項（3）に関して、皆様から発言をいただきたいと思っております。ご質問、ご意見等、はい船山さんお願いします。

船山：実務者協議会

函館五稜郭病院の船山でございます。あの今の研修のですね、ホームページに出すっていう話なんですけども、実はあの渡島振興局の渡島保健所の方でですね、渡島東部の医療と介護の連携みたいなこういう集まりがあるんですが、そのあのグループワークをですね、先日ちょっと七飯町立文化センターでやってきました。あの七飯町、北斗市、それから森町、鹿部とか、あのあたり東部の方全部集まってもらったんですけども、そこで話題に出たのが、やっぱり、あのどういう研修をですね、やっているか分からないっていう話題がでて、同じような感じで、ホームページか何かでアップしてもらえないのかという話が出たんですね。で、まあその時に私も居たので、実は函館市の方で、こういうことやってるんですってことで、まあ画面も一部の方に見てもらって、これはいいよねって話になったので、ここは本当に渡島保健所と函館保健所の話しになるかもしれませんが、そのあたり、どうせ同じ地

区でやっているんだから、多分こう一緒に使い合えるのが一番いいのかなと思うんですよね。あえて渡島はまた別に作るとか渡島東部も別に作って渡島西部もまた別に作って、で函館市もあるみたいな感じよりは、なんかひとつの掲示板で全部見れる方がいいと思うので、その辺りもちょっと含めて、今後検討してもらえればなと思ってました。はい、以上です。

佐藤幹事

あの、あつよろしいですか、小棚木さん。

小棚木医療・介護連携担当課長

はい、まあそういった広域連携のお話しは親会議の協議会でも出ておまして、確かにあの函館市内だけの話ではない、特に医療なんかは広域の患者さんを対象としているところがございますので、現在あの渡島総合振興局の方と協議の場をどういう風に持って行ったら良いかということ、来週月曜もアポイントメントをとって、ちょっとご相談に伺うという動きもしております。難しいのは、介護保険の事業というのが、市町村毎の事業でございます、一方医療というのは広域の医療計画に基づくということもございまして、今医療と介護の協議の場というのがですね、都道府県主体で色々設けられている所ではございますので、そういったすりあわせ等について渡島の方とただいま協議相談している所でございます。補足でございました以上です。

酒本部会長

はい、ありがとうございます。その他、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。はい、齋藤さんお願いします。

齋藤：老施協

研修の情報を載せるって重複しないようにすることを目的だっておっしゃったんですけど、うち道南老施協の場合って、あの会員しか研修に参加できないから、私勝手にそれだったら、あの情報提供してもしようがないなって思ってたんですよね。これからはその重複も考えるっていうことは、やっぱり会員しか参加できない研修に対してもお知らせした方が良くってという考えでもありますか。

佐藤幹事

そうですね。当初この一元化の目的の中には、先程ご説明しましたように研修参集の目的と、重複しない、研修会同士が重複しないことを目的として、一元化の情報掲載をという声があり開始しておりますので、会員さん限定であってもご案内いただけますと他の団体さんがそれを参考に研修の日程を調整されるということも考えられるかと思っておりますので、今後何かありましたらご連絡いただければと思います。

酒本部会長

はい、その他、ご意見、ご質問等よろしいでしょうか、はい川口先生お願いします。

川口：在宅ケア研究会

すみません、これに載せれる、研修会ってどんなものまで載せれるのか。

佐藤幹事

この多職種研修連携作業部会の中です。以前に協議していただきまして、その中でまず今年度はスタートの年ということもあるので、皆さんの方でセンターの負担も考えて下さいまして、まずはこの推進協議会に参加している団体が、主催しているものという形で整理をさせていただいております。今後また、協議の上、掲載できる団体が増える可能性もありますが、現在ではそういった整理で行わせていただいております。

酒本部長

その他、ご意見、ご質問等よろしいでしょうか。よろしいでしょうか。はい、それでは、「報告事項（3）」に関しましては以上で終了しまして、次の議事に進めさせていただいてよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、続きまして協議事項（1）「第3回函館市医療・介護連携多職種研修会当日役割分担について」アの「シンポジストの選定について」に関して、幹事から説明願います。

佐藤幹事

資料7の2ページ目、15職種のシンポジストが掲載されております。依頼したい条件等が記載されておりますが、可能な限りシンポジストは研修部会のメンバーの皆さまにお願いできればと考えております。①の医師を川口先生、②の看護師を高畑さん、③保健師は行政の方をお願いする予定です。④歯科医師は本日欠席されていますが岩井先生に、⑥の薬剤師は水越先生が、当日業務により参加が難しいとの事でしたので、どなたかご推薦いただく事となっております。⑧は寺田さん、⑨は柔整の齋藤さん、⑩は益井さん、⑪を酒本さん、⑫を京谷さん、⑬を中村清秋さんをお願いしたいと思っております。⑤の歯科衛生士さん、⑦の栄養士さん、⑭の介護職員さん、⑮の福祉用具専門相談員さんは、部会メンバーの中からの選出が難しいので、センターに一任していただければ、各団体さんをお願いしてどなたか選出していきたいと思っております。また、部会メンバーでシンポジストになられない方、看護協会の中村様、イカリングの船山様、老施協の齋藤様には、研修会当日の受付等のお手伝いとグループワークの際のファシリテーター役をお願いできればと考えております。協議事項（1）ア「シンポジストの選定について」の説明は以上になります。この件につきまして皆さまにご協議をいただければと存じます。

酒本部長

佐藤幹事、説明をありがとうございます。それでは、協議事項（1）ア「シンポジストの選定について」について、皆様からご発言をいただきたいと思います。ご質問、ご意見等、はい、お願いします。

齋藤：柔道整復師会

整復師会なんですけども、一応私達の方では、会長の工藤にシンポジストをしようかなと思いましたが、よろしいでしょうか。

佐藤幹事

はい、分かりました。では、会長の工藤さんにシンポジストとファシリテーターをしていただけるというイメージでよろしいでしょうか。齋藤さんはまた別の形でお手伝いをお願いさせていただければと思っています。宜しくお願いいたします。

齋藤：柔道整復師会

お願いします。

酒本部会長

ほかご質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。はい、では、今ご説明させていただいた内容に沿って、これから進めていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。それでは、続きまして協議事項（１）のイ「スタッフの役割分担について」に関して、幹事から説明願います。

佐藤幹事

スタッフの役割分担についてご説明いたします。資料１４をご覧ください。今回は集合時間を１２：３０としております。出欠を確認したのち、全体のオリエンテーションを行います。会場設営、受付設営を、それぞれ担当を決めて行っていただきますが、イカリングの船山様、老施協の齋藤様に、受付や会場の設営などお手伝いしていただければと考えております。また、受付等については、医師会病院の職員も３名ほど協力してもらおう予定ですが、昨年の状況もふまえ、参加人数も多い包括連協さん、居宅連協さん、MSW協会さんから、メンバーさん以外におひとりずつお手伝いをして下さる方をお願いできればと思っております。会場設営が整い次第、１３：００からシンポジスト、ファシリテーターの打ち合わせを開始、参加者の受付は１３：１５頃を予定しております。受付が終了して、研修会が始まり次第、お手伝いの方々には会場に入っただけのように研修会中の受付対応は、センター職員と医師会病院職員でと考えております。

研修会終了後は、全員で後片付けを行い、懇親会会場に移動するという流れで考えております。協議事項（１）イ「スタッフの役割分担について」の説明は以上になります。

この件につきまして、皆さまにご協議をいただければと存じます。

酒本部会長

はい、佐藤幹事、説明をありがとうございます。それでは、協議事項（１）イ「スタッフの役割分担について」に関して、皆様からご発言をいただきたいと思っております。ご質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。はい、では、先ほど来から皆様からいただいたご意見をもとに、今後改めて協議させていただくなど調整しながら、内容の確定にかかりたいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、次回の部会について、運営担当の幹事から説明願います。

佐藤幹事

次回の部会は、第3回の大規模研修が終了後に、随時、改めて日程等を各メンバーの方々にお伺いして開催しようと考えておりますので、ご了承をお願いします。

中村副部長

それってシンポジスト会議と同じってことですか。

佐藤幹事

部会とシンポジスト会議は別ですね。はい、シンポジスト会議はですね。すいません、何度もお手数おかけしますが、シンポジスト会議は大規模研修の前、11月に入ってからですね、中旬位までの間に予定したいと考えております。次回の部会は、この大規模研修が終わってから、はい、随時また日程を調整していければと考えております。

酒本部長

はい。ありがとうございます。最後に、全体を通して何かご意見・ご質問等は、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。他に無ければ、全ての議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

小棚木医療・介護連携担当課長

はい、酒本会長、どうもありがとうございました。それでは、以上をもちまして、函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修部会の第6回会議を終了させていただきます。皆様お疲れさまでした。